



「かながわ 高校生チャレンジボランティア」という言葉には、どんな小さなことでもいから、社会に貢献することにチャレンジしてみようという思いが込められています。まず、自分ができる、ちょっとした活動から始めてみましょう。

夏、ボランティアにチャレンジしよう!

今年も夏休みが近づいてきました。皆さんはどんな計画を立てていますか? 夏休みは、普段なかなかできなかったことにも取り組めるチャンスですね。

県教育委員会では、8月を「ボランティア強化月間」として、ボランティアにチャレンジする高校生のみなさんを応援しています。小さなことからでも、社会や人々の役にたつ活動をしてみましょう。

また、活動した記録をまとめて、いろいろな場で発表することで、ボランティアの輪がますます広がっていきます。県や各団体が主催する報告会・コンクールなどにも積極的に参加して、ボランティア活動で手にした成果を、多くの人々に伝えてみてはいかがでしょうか。



昨年度の「ボランティア・ナビ」ボランティアに関心のある中・高校生がたくさん訪れました。



青少年ブース
参加者の希望を聞きながら、ボランティア関係団体の方が相談ののってくれます。

中学生・高校生等青少年のための

よくわかる ボランティア・ナビ

「わたしにできるボランティアってあるの」「ルールやマナー、保険について知りたい」「ボランティア活動の場所の情報があほしい」そんな声にこたえます。

ボランティア活動の様子をビデオや写真で見たり、体験したりしながらさまざまな情報を得ることができます。

会場 かながわ県民センター2F ホール

日時 6月27日(土) 10:00~17:00

参加無料

問い合わせ先：神奈川県生涯学習情報センター
電話 045-312-1121 (内線) 2501~2505



わが校の地域貢献活動・ボランティア活動 第3回

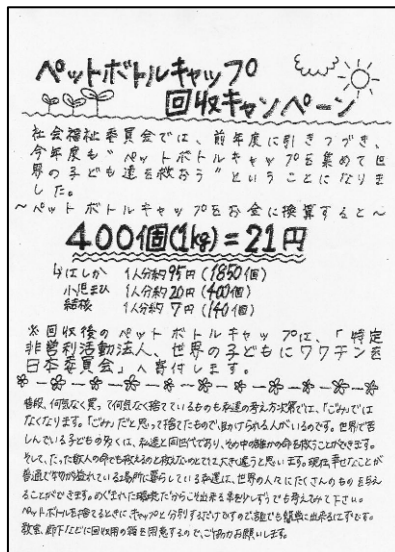
日ごろの地道なボランティア活動 県立百合丘高校

県立百合丘高校は、部活動によるボランティア活動が特に盛んで、これまでも野球部・サッカー部等による学校付近の清掃活動、小学校での美化活動、また、吹奏楽部・チアリーダ部による福祉施設への慰問活動など、地域貢献も含めたボランティア活動を行っていました。

しかし、学校全体では生徒の意識はいまひとつでした。そこで、平成20年度から社会福祉委員会を中心に「ペットボトルキャップ回収キャンペーン」を企画し、実施することにしました。委員会の中でキャンペーンへの企画・運営のグループを立ち上げて広報に努め、各クラスの福祉委員の協力も得て、昨年度約8ヶ月で21,247個のキャップを集め、世界の子どもたちへワクチンを送っているNPO団体に寄付しました。

こうした日ごろの地道な活動をとおして、生徒のボランティア活動に対する意識が向上し、ボランティア活動が広がることを期待して、今年もこの委員会によるキャンペーンを進めています。

(県立百合丘高等学校 3年 今野末希)



キャンペーンのチラシ



回収の様子

第13回 ボランティア・スピリット賞
内容：ボランティア活動に参加して、感じたこと、学んだことなどを応募用紙に記入して提出し、書類審査で賞を決定する。
締切り：平成21年9月18日(金) 必着
応募の詳細は、同賞事務局から各校に別途送付済みの案内をご覧ください。また、Webでも情報を見られます。
(主催：プルデンシャル生命ほか)

